

平成26年10月

発行人：日本環境安全事業株式会社 東京事業所



東京PCB廃棄物処理事業だより (No.39)

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成26年7月～9月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	7月～9月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	71台	2,568台
コンデンサ類	1,675台	31,582台

* 連結コンデンサは内部に含まれる台数でカウントしています。

* 低濃度PCB廃棄物については平成25年6月に処理を完了いたしました。

東京PCB廃棄物処理事業環境安全委員会が開催されました。

平成26年10月7日、江東区東陽町にて第32回環境安全委員会（委員長：中杉修身 元上智大学大学院教授）が開催されました。

議題1として、平成26年度上半期の施設稼働状況や環境モニタリングの結果、運転時トラブルの状況、運転及び設備の対策・改善、安全衛生管理活動等について報告しました。

運転時トラブルの状況では、①6月に水熱酸化分解後の処理液PCB濃度が自主管理目標値（0.0015ppm）まで下がらず長期間再処理を繰り返したこと、②7月に水熱酸化分解設備の再生熱交換器出口連絡管から蒸気漏れが発生したこと、および③7月にコンデンサ予備洗浄系統の排気系統にセーフティネットとして設置している活性炭吸着槽入口部のPCB濃度オンラインモニタリング値が環境保全協定値（0.01mg/Nm³）を超える警報を発したこと、の3件を報告しました。いずれも外部環境への影響はなく、また、当該設備について必要な補修及び再発防止対策を講じましたが、水熱酸化分解設備の蒸気漏れにつきましては、今後も原因の究明と対策を継続し、安全・安定操業に努めてまいります。

議題2として、廃粉末活性炭処理設備の設置について、

議題3として、東京事業所の長期保全計画に係る基本的な考え方を報告しました。

委員からは、トラブルが頻発したことについて、技術的な委員会である事業部会で原因究明等の意見を伺うことも必要、などのご意見がありました。

いただいた貴重なご意見・ご助言等を施設の運営・管理に反映し、引き続き安全・確実な処理を行なってまいります。



環境安全委員会の様子

PCB収集運搬業者安全協議会総会・連絡会が開催されました。

平成26年9月26日、当事業所が入門許可を出しているPCB収集運搬業者で構成される「PCB収集運搬業者安全協議会」（会長会社：首都圏日立物流サービス株式会社）の第7回総会が開催されました。当日はPCB収集運搬業者27社、32名の方々が参加されました。

会議では、収集運搬時事故の際の緊急連絡体制の改訂と確認等が行われました。

総会終了後、同収集運搬業者と東京事業所との間で「東京PCB廃棄物処理施設収集運搬業者連絡会」を開催し、下記の事項を報告して必要な情報共有を図りました。

- ①微量PCB助成金について（東京都環境公社から）
- ②基本計画の改訂について
- ③エリア間移動対象物の収集運搬を行う際の要件等について
- ④H26年度下期からの3県少量保管者説明会の実施について
- ⑤収集運搬不適合事例、漏洩機器の補修、ヒヤリハット事例等について
- ⑥緊急連絡体制の変更について
- ⑦入門許可の更新・変更手続き等について
- ⑧環境ISOの取り組みについて

特に、国の基本計画の改訂により、当社の5事業所の長所・処理能力を相互に活用すること、東京エリアの安定器等の処理については北海道事業所を活用することなどを収集運搬業者に説明しました。また、漏洩機器の補修方法やヒヤリハットの事例を紹介し、安全運搬のための注意喚起を行いました。

防災訓練（休日・夜間想定）の実施

平成26年10月8日、今年度第1回夜間・休日の防災訓練を行いました。

漏洩発見通報に始まり、現状の把握・通報、自衛防災組織体制の発動、初動活動（漏洩拡散防止・回収、初期消火、消火設備操作等）、公設消防対応等に至るまで、役割分担等の確認を行いながら混乱なく実行されました。夜間・休日の防災訓練は、今回は漏洩想定で行いましたが、火災想定も含め、今年度中にあと3回行う予定です。



防災訓練の様子（中央制御室）

救命講習会の実施



救命講習会の様子

平成26年10月17日、臨港消防署職員を講師として救命講習会を開催し、16名が受講しました。

心肺蘇生の胸骨圧迫・人工呼吸およびAEDによる除細動の重要性を再認識し、人形を使っての現地訓練を行いました。また、気道異物除去法や応急手当についての講義も受けました。

緊急事態に遭遇した場合を想定して、適切な応急手当のための知識と技術を習得する有意義な講習会となりました。

上半期の見学状況

上半期については、保管事業者、官公庁、学校等、38団体（海外を含む）、合計341人の方々にお越しいただきました。

海外からの研修コースに組み入れられることも増えてきており、PCB廃棄物処理施設・技術への関心の高さが伺えます。

	4月～6月	7月～9月	上半期計
団体数	16件	22件	38件
見学者数	136名	205名	341名

見学を希望される場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。



外務省ロシア技術支援研修の皆様

環境報告書2014を発行しました。



環境報告書 2014

平成25年4月1日～平成26年3月31日の当社の事業活動に係わる環境配慮の取組みをまとめた『環境報告書2014』を9月に発行しました。

この報告書は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に準拠して、当社の環境と安全に対する取組みを積極的に開示するために毎年発行しているものです。また、環境保全に加えてPCB廃棄物の処理実績、労働安全衛生、保安防災、従業員教育、地域とのコミュニケーション、ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会等の取組みについても記載しています。発行に当たっては第三者審査を実施し、開示情報の信頼性を高めています。

「環境報告書2014」は当社のHPに掲載しておりますのでご覧ください。



日本環境安全事業株式会社 東京事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
TEL03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.htm>



社名および事業所名変更のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社は日本環境安全事業株式会社法の改正に伴い、新たに中間貯蔵に係る事業に取り組むことになり、平成26年12月24日をもちまして、社名を「中間貯蔵・環境安全事業株式会社」と変更いたしました。

また、これを機に事業所名につきましても「東京PCB処理事業所」と変更いたしました。なお、略称の「JESCO」は今後も使用してまいります。

当事業所では、中間貯蔵の事業には関わることなく、今まで通り、PCB廃棄物の処理事業のみを実施してまいります。

今後とも、社員一同PCB廃棄物の早期処理に向けて全力を尽くしていく所存でございます。

従来に増しての御指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

年頭訓示

年始にあたり、平成27年が無事故・無災害で操業できるよう祈念して、PCB廃棄物処理に当たっているJESCO、TEOの2社合同の全体集会を行いました。

JESCO東京PCB処理事業所長からは、昨年1月の水熱分解設備からの蒸気漏れのトラブル等による操業の遅れについては、年末年始の操業でほぼ取り戻したが、トラブルが続いたことについて環境安全委員会、東京都および江東区から安全安心な処理を行う上で厳しい対応が求められている。「安全確実」は当社の基本理念であり、「安全は全てに優先する。」ということをお忘れず、2社一体となって安全操業を貫いていこう、との年頭訓示がありました。

また、TEO所長からは、安全・安定操業、作業環境の向上を図り、無事故・無災害に向けて取り組んでいく、との決意表明がなされました。



全体集会の様子

東京PCB廃棄物処理施設の運転状況について

当事業所での平成26年10月～12月の処理実績は下表のとおりです。

廃棄物の種類	10月～12月 処理台数	操業開始からの 処理台数の累計
トランス類	88台	2,656台
コンデンサ類	2,166台	33,748台

*連結コンデンサは、内部に含まれる台数でカウントしています。

*低濃度PCB廃棄物については、平成25年6月に処理を完了いたしました。

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業検討委員会 東京事業部会を開催しました。

平成27年1月14日に、平成26年度第2回東京事業部会（主査：永田勝也早稲田大学大学院教授）を開催しました。

はじめに、平成26年10月29日に発生した「水熱分解設備再生熱交換器出口連絡管からの蒸気漏れトラブル」について、原因、対応策および今後の保全等（連絡管の全面取替）について報告しました。

その他、「当事業所の長期保全計画」、「リン化合物含有PCBの前処理の検討について」等を報告しました。

各委員からは、連絡管の全面取替の工程短縮や保全について等多くの助言をいただきました。



事業部会の様子

放水訓練の実施



放水訓練の様子

平成26年10月31日から11月21日の間に合計4回の放水訓練を行ないました。これは、秋の火災予防運動期間中の恒例行事として毎年行っているもので、事業所の自衛消防組織の訓練の一つです。

訓練では、まず班員の任務・配置等の確認をした後、実技を2回繰り返して行いました。

実技は、屋外消火栓を使用し、班長の号令に従って行いましたが、いずれの班員もきびきびと行動し、想定された火点に向けて的確に放水することができました。

美化活動について

事業所内の緑地には様々な花木を植えています。正面玄関周辺にはつつじを植えており、毎年5月頃には一面花が咲きみだれ美しい光景が楽しめます。

ただ、開花時期が過ぎますと葉だけの光景となり何か寂しさを感じられることから、この度、美化活動の一環として、四季折々の花を植えた花壇を作り、来客者および従業員に楽しんでもらう新たな取り組みを昨年夏からスタートしました。

この季節、パンジー、ユリオブスデージー、ハボタン等が玄関を飾っております。



正面玄関横の花壇

施設見学の状況



見学の様子（情報公開ルーム）

昨年4月から12月までの当施設の見学については、保管事業者、官公庁、学校等の57団体（海外を含む）、合計576人の方々にお越しいただきました。

	4月～ 6月	7月～ 9月	10月～ 12月	合計
団体数	16件	22件	19件	57件
見学者数	136名	205名	235名	576名

見学は火曜日と木曜日に実施しています。
希望される場合は、下記の電話番号へご連絡ください。



中間貯蔵・環境安全事業株式会社 東京PCB処理事業所
〒135-0064 江東区青海三丁目地先（中央防波堤内側埋立地内）
Tel.03-3599-6023
<http://www.jesconet.co.jp/facility/tokyo/index.htm>